

## 訪問リハビリがはじめました

2020年4月より訪問リハビリテーションが開設されました!!当施設のリハビリスタッフがご自宅に伺い、ご利用者が住み慣れた地域社会や家庭で安全に生活ができるよう支援するサービスです。対象は、①当施設入所中で在宅復帰に不安を抱えている ②当通所リハビリ利用中に通所困難となってしまった ③通所サービスだけでは生活目標が達成されない ④公共交通機関利用や家事の獲得、社会参加（地域活動・老人会参加や復職等）希望がある といったご利用者です。サービス内容は様々で、各ご利用者に合わせたプログラムを提供します。訪問リハビリの一場面をご紹介します。

90代女性Yさん

目標 「近隣の病院まで一人で歩いて通うことができる」  
目標 「洗濯を一人で安全に行うことができる」

ご自宅から近隣の病院までの歩行練習です。

洗濯物を取り込み家の中まで運ぶ練習です。

ご利用者おひとりおひとりの“その人らしさ”を支えるリハビリを提供します!!

洗濯物を先に部屋に置いてから階段を上りましょう

押し車を使うと安定して歩けますね～

あたしゃ楽しくてしょんないよ！

## ペテル通信

2021年  
春号



社会福祉法人 聖隸福祉事業団

介護老人保健施設 三方原ベテルホーム

〒431-1304 浜松市北区細江町中川7421-1 TEL 053-436-6600

## ごあいさつ



看護介護課 課長  
平野きくえ

2020年10月より三方原ベテルホームに異動となりました平野きくえです。聖隸福祉事業団に入職し、病院、有料老人ホームにて勤務してきました。私のモットーは、「患者様・ご利用者様を常に自分の家族であるように接すること」を大切に経験を積んできました。介護老人保健施設での仕事は初めてではありますが、看護学生時代より三方原ベテルホームを目にして通学をし、この三方原大地の四季の移り変わりを懐かしく感じ、楽しみに思う日々です。利用する方々が安全に安心してご利用頂けるように努力していきたいと思っています。

昨年度より、新型コロナウイルスが蔓延し浜松市においてもクラスターが発生しました。当施設といたしましても、感染予防対策として、換気、マスク、手指衛生はもとより、通所・入所ともにアクリル板の導入や席のレイアウトを変更し、業務継続しています。皆様の御協力を感謝申し上げます。

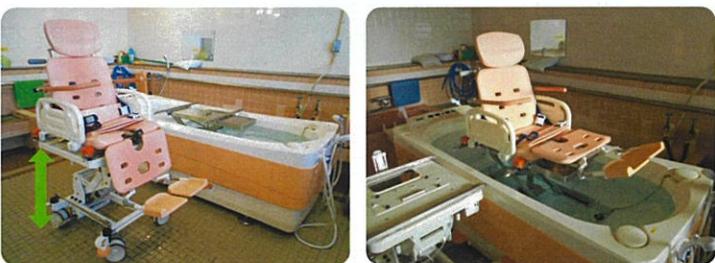
今年に入ってもまだまだ先が見えない状況でご不自由をおかけします。今後も、リモートを利用し面会を進めてまいります。

職員も日々の感染対策を徹底し安心してご利用頂ける様に努力していきたいと思います。  
これからも、みなさまと一緒に歩みを続けていきたいと思っております。

## 3階に新しいお風呂が入りました!

体を洗うときなど介助者の負担が軽くなりました。利用者さん・職員ともに大好評。

シャワーチェアは昇降式



## 通所リハビリ

豚汁会

育てた野菜で豚汁を作りました。



焼芋

美味しいお芋が焼けました！



## 入所2階

2階ではご利用者の経験を生かした活動を提供できないかと考え、プランターで野菜栽培をしました。敬老会では感染予防対策を行なながら、例年通りご利用者の皆様のご健康とご多幸を祝いました。



## 入所3階

3階では生け花や指体操といった手先を使った作業を提供しています。体操を行なう中でも感染対策を徹底しており、ご利用者同士の間隔を空ける事や対面にならない様に気をつける等、安心して過ごせるよう常に工夫をしています。



## 入所4階

4階では「令和3年」の数字をご利用者に貼り絵で作って頂き、年の移り変わりを作品を通して感じて頂きました。クリスマスには職員がサンタクロースとトナカイの格好をしてご利用者にプレゼントを配り、みなさん喜ばれていました。



## ベテル学会



感染対策の為、規模縮小して開催をしました。職員間のスペースを空け、使用した物品はその都度消毒するなど徹底した感染対策を行いました。



### 最優秀賞

#### 地域在住要介護高齢者の慢性痛には抑うつが関連する

リハビリテーション課 池田圭介

2020年度ベテル学会にて最優秀賞をいただきました。高齢者に多く訴える長引く痛み(慢性痛)に着目した内容を発表させていただきました。どのような因子が慢性痛の訴えに関わるかについて調査し、今回は鬱々とした気持ちが慢性痛に関わることが明らかになりました。慢性痛に悩む高齢者は多くいらっしゃると思います。今回の結果を日々の関わりにいかしつつ、より良い関りを行えるように、今後も高齢者の慢性痛に関わる調査に取り組んでいきたいです。